

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第265回

ウォルター・バジヨット

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和3年8月2日

編集委員：入試広報室 鈴木



今回の言葉

人生における大きな喜びは、
『君にはできない』ということをや
ってのけることである。

ウォルター・バジヨットは、イギリスのジャーナリスト・評論家・経済学者・思想家。

Column

非常に強気で自信を感じる言葉です。このコラムをスタートさせた当初に、サッカーの三浦知良選手の言葉を紹介しました。その言葉とは別になりますが、彼の言葉で『1%あるんですね。じゃあ僕はその1%を信じます』というものがあります。この言葉を知った時に私自身、彼のファンとして『さすがキングカズ！』と、彼の強さやアスリートとしての“生き様”に感動したことを覚えています。

バジヨット氏や三浦選手のような“心意気”と満ち溢れるエネルギーに感動しながら、同時に“潔さ”について考えました。『潔い』という言葉の意味を調べると『澄み切った感じで、すがすがしい。特に態度が、未練げもなく、さっぱりしている。』とあります。私は可能性が低いことでも『やる！』と決めたら一直線な部分に潔さを感じました。しかし、逆の方向から見ると“可能性が限りなくゼロに近いことにしがみついて潔くないな…”と感じる人もいないかと思いました。改めて、考えは人それぞれだということを感じました。また、人には『調子・気分』というものがあ、同じことに対しても考えるタイミングによって出る答えが違うこともあります。そういう意味でも物事を様々な角度から見ることの重要性を感じました。

自分の抱える問題に向き合う時に“諦めたほうがいいのか…”と感じるようなことは特に、自分がどうしたいのかをリスクに関係なく素直に考えられる自分であることも非常に重要なことだと思います。先に述べたように、選択に対して潔いと感じることも潔くないと感じることもあります。そして、潔くないと感じながらも挑戦してみたその先にはその挑戦が成功であっても失敗であっても間違いなく『経験』があり、自分の財産になります。人生に無駄なことなんて何一つないのです。そのことを心から理解し、『これが成功したらみんな驚くだろうな！』とワクワクできる人が、他人に『君にはできない』と言われるような、成功したら自分でも驚くようなことに躊躇なく挑戦し、実際にやってのけられるのではないのでしょうか。『自分にはできない』と諦めることはいつでもできます。時には歩みを止めることも逃げることもあっていいと思います。ただ、主役を取りに行くという挑戦は今のうちに是非一度はみなさんにしてみたいと願っています。0を1にすることがいちばん大変なものですから。大きな喜びを手にしましよう！